

砂利や砂洲で生活する鳥

阿賀野川の河口には大きな砂州が、また、中流には大きな砂利の中州が広がっています。そんな草の生えていない土地を好んで生活する鳥がいます。

【コアジサシ】 ※ 国・絶滅危惧Ⅱ類 県・準絶滅危惧
分類：チドリ目 カモメ科

ムクドリくらいの大きさとツバメのような尾を持つスマートな形の白い鳥です。夏になるとやってきて、砂洲で大きな群れをつくって生活し、しばしば水面に飛び込んで小魚をとっています。近寄ると「キリリリッ」と鳴いて攻撃こうげきされることがあるので注意しましょう。

【イカルチドリ】 分類：チドリ目 チドリ科

1年中阿賀野川でくらすスズメより大きな、チドリの仲間です。日本の川の中流で生活するイカルチドリは最近とても数が減っていますが、阿賀野川では河川敷がとても広いこともあり、比較的よく見られます。砂利地の上をちょろちょろ歩き、ピタッととまって小さな虫をとったりしている様子が見られます。

【コチドリ】 分類：チドリ目 チドリ科

夏になるとやってきて、砂利地などに手のひらくらいのへこみの巣を作って卵を産みます。せまい砂利地でも卵を産む場合があるので注意しましょう。「ピオッピオッ」と鳴きながらよく飛んでいます。



イカルチドリ

やく
約 20cm

くちばしから尾までの長さ



コアジサシ

やく
約 28cm

くちばしから尾までの長さ



卵を抱くコチドリ

やく
約 16cm

くちばしから尾までの長さ

 よく見られる場所

